

# まつさか市議会だより みてんか

まつさか市議会だより

vol. 109

2026.3.1

「みてんか」は電子  
ブックやPDFでも  
ご覧いただけます。



# クローズアップ

令和7年11月定例会（11月26日～12月17日／会期22日間）

## 松阪地域の応急診療を改めて考える

### 請願第7号 松阪地域の応急診療体制の維持・充実に関する請願書

今定例会に、市内外の13団体から連名で松阪地域の休日・夜間の応急診療体制の維持・充実を求める請願が提出されました。子育て支援団体や高齢者支援のNPO、障がい児者支援団体や家族会、PTA、保育園の父母会、商店街連合会と、地域も分野もさまざま多岐にわたり、議会としても慎重な審査を行いました。

松阪市では、従来「松阪市休日夜間応急診療所」と委託先である民間の「いとうじ応急クリニック」の2カ所で一次救急に対応してきましたが、令和8年度から「いとうじ応急クリニック」の深夜帯委託が廃止され、年末年始の大型連休時にも委託が廃止される見込みとなりました。そのことから、応急診療体制に対する市民の不安が高まったことが、今回の請願提出の背景とされています。

請願では、空白時間帯や診療体制の希薄化を生じさせない診療所の確保、年末年始等での複数の応急診療拠点の確保、子どもや高齢者など医療が必要な人が不安なく備えられる特段の配慮を求めていました。

環境福祉委員会では詳細な審査をするための参考人を招致させていただき、さまざまな角度からの質疑応答、議論を行いました。



市健康福祉部	検討状況等の現況確認
松阪地区医師会	一次救急の現場状況等の確認
いとうじ応急クリニック	一次救急の現場状況等の確認
志摩市民病院の医師 (日本地域医療学会理事)	全国の動向や総合的な救急医療のあり方の調査



市としては次年度の年末年始に向けて、はるるの積極的な活用やカルテの電子化、人員の増員、駐車場の確保等を検討していることや、医師会も十分な体制を確保できる見込みであることが確認できました。一方で、現在も小児科医不足により県外から臨時に執務する医師に頼っていること、昨年末から今年の年始に感染症の爆発的な流行で患者があふれ、パンク状態になったことなど、改めて課題も明らかになりました。

賛否それぞれの討論を経て、委員会では賛成多数により採択すべきと決定しました。

本会議でも活発な議員間討議によりさまざまな意見が交わされました。審議不十分と年末年始の稼働状況の精査が必要ということで審査を先送りにする「継続審査」の動議、請願の内容を部分的に採択する動議も提出されましたが、賛成少数で否決となり、原案通りに採決を行いました。その後に8人の議員が賛成・反対それぞれの立場から討論を行い、採決の結果、賛成10:反対13で不採択となりました。

今回の請願審査により、松阪地域の応急診療体制に対して、これまでよりも詳細で深い議論が交わされたことは間違いません。議会として、今後も市の方針や対応にしっかりと向き合ってまいります。



### 請願第7号

### 松阪地域の応急診療体制の維持・充実に関する請願書

#### 議員間討議

議員間では、休日夜間の一次救急を1拠点に集約する方針について意見交換が行われました。市民の利便性や不安への配慮を重視する意見がある一方、医師や医療スタッフ確保の難しさから、持続可能な体制づくりの必要性を指摘する声も出されました。複数拠点のあり方や情報公開の重要性を含め、慎重な検討を求める意見が示されました。



#### 反対討論

反対の立場からは、限られた医療資源を有効に活用するため、一次救急の集約は現実的な選択であるとされました。機能を集約することで体制を強化し、市が責任を持って安定した救急医療を提供できると説明されました。今後は情報提供を行いながら、市民の理解を得ることが重要とされました。

#### 賛成討論

賛成の立場からは、一次救急の集約により受診しづらくなることへの懸念が示されました。特に子どもや高齢者などへの影響を踏まえ、複数拠点を維持することが安心につながるとの意見が出されました。地域の実情に応じた救急医療体制を継続すべきだとされました。

### 請願第8号

### 生活保護基準引き下げによる不利益の是正と謝罪・補償を求める請願書

#### 請願の概要

2013～2015年に行われた生活保護基準の引き下げについて、最高裁は判断過程に違法性があったと判断しました。これを受け、国に対し謝罪と補償を求める意見書を提出するよう求めたのが請願第8号です。



#### 反対討論

最高裁判決は、基準引き下げの判断過程に問題があったとする一方、当時の経済情勢のもとで基準を見直すこと自体を否定したものではありません。現在、国は判決を受けて追加給付などの対応を進めており、請願提出時から状況は変化しています。地方自治体としては、制度全体の安定運営や財政負担の公平性も考慮する必要があります。すでに国の対応が進む中で、改めて意見書を提出する意義は限定的であり、本請願は採択すべきではないと考えます。

#### 賛成討論

最高裁が違法と判断した以上、国は判決の趣旨に沿い、不利益を受けたすべての生活保護利用者に対して、誠実な謝罪と十分な補償を行う責任があります。長年、生活の苦しさの中で裁判を続けてきた当事者の声は重く、現在示されている国の対応は限定的で、被害の全体回復には至っていません。市議会が意見書を提出することは、命と暮らし、人権を守る立場から国に改善を求める重要な役割であり、本請願は採択すべきであると考えます。

この請願に対しても、反対・賛成の討論が活発になされ、賛成10:反対13で否決となりました。





## 総務企画委員会

### 指定管理者制度

#### (8地区のコミュニティセンター)への審査



付託を受けたのは令和7年度一般会計補正予算など13議案。うち8議案は地区コミュニティセンターを指定管理者に委ねようとするものでした。

一般会計補正予算をめぐっては、若い職員の退職が増えないよう組織への帰属意識とやりがい対策について議論。財政調整基金(財調)残高に適正値について議員間討議に発展しました。財調の残高は標準財政規模の10~20%程度が適正とするのが一般的です。しかし、昨今は国の緊急的な財政出動に対応する財源をいつでも用意できるよう「積み上げ」が必要でないかと問題提起。「議員間である程度意識共有をするべき」という趣旨の説明もあり、今後、委員会での議論に余地を残しました。

また、コミュニティセンターの指定管理者化にあたっては、人件費、諸物価の高騰分を指定管理料に何%上乗せしていくかとの質問があり、5年間の人件費上昇分として5%を上乗せていく形で検討しているという明快な答弁がありました。

★用語解説……標準財政規模とは当該の自治体が通常収入するであろうと目安にする数値

## 文教経済委員会

### 市民生活と将来への投資を支える補正予算を審査



令和7年度一般会計補正予算や条例改正、指定管理者の指定など、計14件の議案を審査しました。補正予算では、地域で親しまれている「嬉野ふるさと会館」に隣接する児童公園について、将来にわたり安定した利用を図るため、市が土地を購入する経緯が説明されました。

給食費については、物価高騰への対応として、当初予算で食材費の約15%を市が支援し、さらに今回の補正では、5%を追加する理由が示され、特に米価が1キロ当たり約640円から745円へと大きく上昇し、週4日の米飯給食に影響が出ていることから、保護者負担を増やすべく給食の質を守る必要性が確認されました。

また、企業誘致では、企業の用地取得補助金の上限額を従来の2億円から3億円へ大きく引き上げ、物価や地価の上昇に対応し、他市との誘致競争が優位になる環境を整える考えが示されました。



## 環境福祉委員会

### 松阪市民を特殊詐欺等から守る条例制定

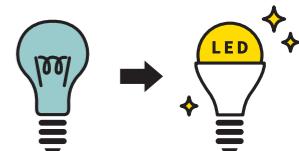


近年、特殊詐欺の被害が全国的に増加しており、松阪市でも令和6年にはオレオレ詐欺46件(1億6,400万円)、SNS型投資・ロマンス詐欺23件(1億8,162万円)と深刻な状況が続いています。こうした中、増え続ける特殊詐欺等の被害から松阪市民の大切な財産を守ることを目的として、県内初「松阪市民を特殊詐欺等から守る条例」を制定しました。

条例では、携帯電話で通話しながらのATM操作を原則禁止することや、電子マネー販売事業者に対し、被害が疑われる場合の通報など必要な措置を求めています。ただし、市内の金融機関やATM設置事業者との意見交換を踏まえ、現場負担や責任の重さを考慮し、今回は努力義務とされました。特にコンビニからは、アルバイト中心の体制で高度な対応は難しいとの声がありました。今後は被害状況を見ながら、必要に応じて規制強化を検討することが重要とされ、委員会では原案どおり全会一致で可決されました。

## 建設水道委員会

### 水源地照明 LED化で、安全・安心・省エネへ



市民の暮らしに欠かすことのできない「水」を安定してお届けするため、水源地の照明設備をLEDに更新する「水源地LED化事業」を進めています。水源地は、日常だけでなく災害時にも重要な役割を担う施設であり、安全性と信頼性の確保が特に求められます。

今回の事業では、従来の照明を省エネルギー性能の高いLED照明に交換することで、電力使用量を抑え、電気料金の削減につなげています。また、照明の調達から維持管理までを一体で行うリース方式を採用し、故障時の修理や交換にも迅速に対応できる体制を整えています。これにより、施設管理の効率化と安定した運用が可能となります。

さらに、更新したLED照明は非常用電源と連動しており、停電時や災害発生時でも必要な明かりを確保できます。夜間や緊急時の作業環境が改善され、職員の安全確保や迅速な復旧作業につながることが期待されます。

市民が安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。



## 11月定例会 の議決結果

○は全会一致、●は賛成多数、×は賛成少数  
 塗りつぶしの●は、賛否が分かれた議案等です。  
 議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。  
 過去の賛否内訳も議会ホームページから見ることができます。



議案番号	件名	審議結果
令和7年度松阪市補正	113 一般会計補正予算(第3号)	●
	114 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○
	115 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○
	116 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	○
	117 水道事業会計補正予算(第1号)	○
	118 下水道事業会計補正予算(第2号)	○
	147 一般会計補正予算(第4号)	○
	119 松阪市民を特殊詐欺等から守る条例の制定	○
	120 うきさと憩センター条例の廃止	○
	121 地域集会所条例の一部改正	○
	122 半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の一部改正	○
	123 手数料条例の一部改正	○
	124 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○
	125 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○
条例	126 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○
	127 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○
	128 印鑑条例の一部改正	○
	129 企業立地促進条例の一部改正	○
	130 工場立地法に基づく準則を定める条例の一部改正	○
	131 火入れに関する条例の一部改正	○
	132 松阪市民病院使用料及び手数料条例の一部改正	●
	148 松阪市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	○
	149 松阪市職員の給与に関する条例の一部改正	○
	7 松阪地域の応急診療体制の維持・充実に関する請願書	×
	8 生活保護基準引き下げによる不利益の是正と謝罪・補償を求める請願書	×

### 表決がわかった案件に対する各議員の賛否

議員名 議案番号	案件	至誠会				政風会				市民クラブ			日本共産党		公明党		会派に所属しない議員								
		松原 里穂	森 遥香	野 一平	深 田 龍	沖 和哉	濱 口 高志	松 本 一 孝	赤 塚 か おり	市 野 幸 男	米 倉 芳 周	山 本 芳 敬	酒 井 由 美	吉 川 篤 博	橋 大 介	楠 谷 さ ゆり	殿 村 峰 代	久 松 倫 生	小 野 建 二	奥 出 か よ 子	森 本 朋 子	小 川 正 浩	田 中 真 理	西 口 恒 幸	海 住 恒 幸
113	令和7年度松阪市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
132	松阪市民病院使用料及び手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願7	松阪地域の応急診療体制の維持・充実に関する請願書	○	×	×	×	○	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願8	生活保護基準引き下げによる不利益の是正と謝罪・補償を求める請願書	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○

議長 濱口 高志 は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員。

Q & A

# 一般質問

12月4日、5日、8日、9日の4日間、18人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問しました。

## 一般質問日程・順序

令和7年12月4日(木)	令和7年12月5日(金)	令和7年12月8日(月)	令和7年12月9日(火)
沖 和哉 議員	久松 倫生 議員	森本 哲生 議員	小川 朋子 議員
殿村 峰代 議員	米倉 芳周 議員	松原 里穂 議員	松本 一孝 議員
海住 恒幸 議員	西口 真理 議員	森 遥香 議員	吉川 篤博 議員
深田 龍 議員	田中 正浩 議員	小野 建二 議員	
橋 大介 議員	奥出かよ子 議員	酒井 由美 議員	



一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。

二次元コードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。(別途通信料が発生します)



至誠会



おき 沖 和哉 議員



## 5キロの荷物を背負う子どもとタブレットの持ち帰りの改善を

問 小学校の登下校での荷物の重さが議論されて久しい。低学年児童の平均体重から考えると、自分の体重の25%程度の重さのかばんを持ち歩くことになる。タブレットを学校保管にすれば、登下校の負担軽減になると思うが、どうか。

答 目的のない持ち帰り実態があれば、指導し改善する。低学年ではどういった使い方がいいのか、方針を検討する。

意見 対象学年や使い道を整理していただき、その子達にあったものを提示してほしい。「きずなネット」と連動させれば、保護者への連絡ツールとしてもタブレットの活用が広がると思う。



## 坂ちゃうねん、阪やねん 実は松阪なんですキャンペーン！

問 Googleで松阪牛の検索を調査すると、「松阪牛」が3,130件、「松坂牛」が2,574件。実に40%が間違えている。SNS等の投稿を分析すれば、もっと間違えていると推測できる。シティプロモーションとして問題ではないか。そろそろ本腰を入れて「松阪」だと発信していくことが必要ではないか。

答 「松阪」が定着し、市外、県外の方に正しく検索し、正しくSNSで情報発信していくだけが取り組んでいく。

意見 帰属意識やシビックプライドとしても重要。しっかりと発信してほしい。

日本共産党



とのむら みねよ 殿村 峰代 議員



## 第10期介護保険事業計画に向けて 2025年問題はどうだったか

問 第9期介護保険計画で、危機と転換の年2025年問題は改善されているか。

答 おおむね良好と評価している。

問 2025年は入口。2040年が本丸本格化する危機とされている。第10期に向けた方向は。

答 高齢者の社会参加、健康寿命の延伸を目指した介護予防の取り組みが結果的に保険料の負担を増やさないことになり、低所得者への可能な限り配慮を行っていく。

意見 介護保険外の整備や投資などの地方努力を前提に国への財源措置を求めて。

## 第6期障がい者計画に向けて 親なき後を考える

問 障がい者および保護者の高齢化に伴って在宅介護継続が困難となる「親なき後」の支援を重点項目として位置づけ、レスパイトや施設整備、相談支援、雇用支援などのより充実したサービスを図る具体的な方向は。

答 第6期障害者計画の策定に向け、21人で構成する障がい者計画策定委員会を11月25日設置した。策定過程においても皆さんから寄せいただいた声を大切に反映する。

意見 障がい者の高齢化と親なき後は、個別課題ではない。社会保障と地域福祉計画の根幹にかかわる重要な課題。制度の隙間を埋め、安心して生きられる松阪市に。



### その他の質問

・今の厳しい医療経営環境の中で、本当に市民の病院としてやっていけるのか

会派に所属しない議員



かいじゅう つねゆき 海住 恒幸 議員



## 選挙に行きたくても行けない 高齢者等への対応を

問 免許を返納された方ら選挙に行きたくても行けない高齢者はどんどん増える。自治体として、対応を考えているか。

答 投票所への移動支援を行なっている市もある。他市の情報を参考に調査研究を続けたい。

## 小中学校のタブレットに 恒久財源を

問 小中学校一人一台タブレット維持費（1億6,700万円）の財源は、途方もなくふるさと納税が配分されている「みえ松阪マラソン」（4億3,637万円）に次いで多い。この財源を失ったら維持していくことなくなり、とても困る。財源の5割がふるさと納税という状態でよいのか。

答 教科書は無償供与なのでそれに準ずるものにと国に働き掛ける。



## プールや市民病院緩和ケア病棟の 条例改廃にもパブコメせず

問 市民生活に重大な影響を与える条例制定や廃止はパブリックコメントの対象だが重大かどうかという判断をするのは行政で、大半の条例の改廃はパブコメが実施されないまま終わっている。それを恣意的運用と言う。それが市の基本姿勢か。

答 適切に判断しており、このまま運用をついていきたい。

意見 放置すべきでないと考える。

至誠会



ふかた りょう 深田 龍 議員



## 不登校の子どもたちにとっての クラブ活動

問 何らかの理由で学校に行けなくなった子どもたちにとって、社会との接点があることは望ましい状況。クラブ活動は教育の一環である松阪市の学校において、全てのクラブは不登校の子どもたちを受け入れると、おっしゃっていただきたい。いかがか。

答 学校への登校のきっかけとなり得る一つの手段と考えており、これについては積極的に進めていきたい。



## 農業支援！カメムシ対策

問 全国の斑点米カメムシ類の被害額が年間20～30億とされている。市民に最も身近な行政区としてカメムシ対策に腰をあげていただきたい。

答 普及センターからの情報で、カメムシの被害は少なかったとの声を確認し、試験的な防除対策は考えていない。

問 市として課題と認識しているのか。  
答 今後の状況を注視していく。

### その他の質問

・辞める教員を減らす取り組み。他の自治体から学ぶ  
・通学路をよりご安全に！

市民クラブ



たしばな だいすけ  
橋 大介 議員



### みえ松阪マラソン 参加者満足度 を高める『おもてなし』の強化策

問 大会当日以外にコースを走られるランナーの方から、除草が十分に行われておらず、練習の妨げになっているため、草刈りを行ってほしいという声が多く寄せられている。試走するランナーも大切にしたいという認識はあるのか。

答 重要であると考えている。快適に走っていただけるよう、最大限努力していきたい。

意見 大切だと言うのであれば、言葉だけではなく実態を伴わせてほしい。

### 松阪市における「ダンス文化」の 位置づけと今後の展望

問 保護者から、ダンス練習でフォームチェックができる鏡張りの部屋が欲しいとの声をいただいた。現在は、クラギの文化ホール前や大足町のオーシャン武道館で練習していると聞くが、武道館には剣道や柔道向けの設備はあるものの、ダンス用の設備ではない。本市はダンスドリームプロジェクトを展開し、ダンスが盛んな地域である一方、練習場所の確保ができていない現状がある。この点について、市の認識をお伺いする。

答 ダンスができる施設についても、現在アンケートを実施しているとのことであり、その結果を踏まえ、必要に応じて検討していきたいと考えている。



日本共産党



ひさまつ みちお  
久松 倫生 議員



### 歴史文化遺産の保存、 継承の総合的な計画の確立を

問 市制20周年記念事業の『松阪市文化財案内』は提起して実現したものだが成果に大きな期待をもっている。

文化財、景観など総合的な文化遺産の保存活用という計画策定を提案したい。

答 文化財案内の改定作業は可能な限り現地へ伺い課題や地域の取り組みを知った。

総合的な計画は文化財保存活用地域計画が法的にも位置づけられている。

問 全国町並みゼミを来年松阪で開く。総合的な計画をつくるのであれば大きなチャンスになるのではないか。成功へ支援と共同を提起したいが、考えは。

答 全国町並みゼミの運営に関しては関係する部署が横断的に連携して支援を行い協働して取り組んでいく。全国町並みゼミが成功するよう協力して進めていければと考えている。

### 総合雨水対策10か年戦略の 到達とこれからの計画は

問 浸水被害が顕著な三渡川、百々川、名古須川、愛宕川の4河川など事業化されてきた。到達とこの先の計画の考え方は。

答 成果は、百々川以外の3河川流域で床上浸水被害の解消が見込まれている。近年の気候変動によって水災害の頻発化・激甚化が顕著となっている。令和8年度から新たな協議会を立ち上げ課題解決に向けた取り組みを推進したいと考える。



政風会



よねくら よしちか  
米倉 芳周 議員



### ウッドピア松阪北区産業用地道路 整備に伴う交通安全対策

問 工業用地2区画を造成中であるが、工事が終り、道路が開通すると、一般の方（車両）が通り抜けができる、交通量が増すことが懸念される。安全対策は。

答 ウッドピア松阪北地区へのアクセス道路となる市道木の郷1号線は、公安委員会との立ち合いを行いながら作業を進めている。信号機、横断歩道の設置は求められないが、供用後の交通量や利用者の声も聞き、可能な対策を検討する。

意見 懸念するのは、広い道路のため、スピードを出す可能性である。カーブミラーも含めて安全対策を考えてほしい。

### 3億円予算の「公共交通支援事業」 の進捗状況は

問 鉄道会社2社とバス事業者1社の株式を購入する事業の進捗状況は。

答 三重交通は1億円の株式、18万6,000株の取得完了。近畿日本鉄道は、1億円の株式、3万3,000株取得完了。東海旅客鉄道は、現時点で、3,300万円分、9,000株の取得しかできていない。8月以降株価が急激に上がり、約1.25倍、4,000円以上であるため、株主提案権がある3万株の取得が難しい。

問 単年度予算だが、購入の延期も選択肢としてあると考えるが。

答 一つの選択肢ではあるが、現時点では方向性は決まっていない。



会派に所属しない議員



にしぐち まり  
西口 真理 議員



### 多くの市民は2拠点での応急診療 体制維持を望んでいる！

問 3基幹病院での深夜帯ウオーキンの受入れが一次救急の補完になり得るのか。7カ月で受診者がわずか6人。これは想定内か。この少なさでいいのか。

答 今後、モニタリングする中で評価する。

意見 すぐ誰でも受診できる訳ではない。診察代に加えて7,700円が必要になるかもしれない。かなりハードルが高く、市民の安心を失わせることになる。

問 なぜ1拠点化が必要なのか。

答 医師会から強い協力の意向も得たことから、かねてからの構想である1つの拠点にて実施していきたい。

問 市街地、郊外、2カ所あるから助かるという方もたくさんみえる。年末年始、春日町の応急診療所だけで2倍以上の患者を受け入れ可能か。

答 機能強化を行い、医師会等とシミュレーションを行いつつ充実を図っていく。

問 無理して1拠点化大丈夫か。いおうじ応急クリニックへの年末年始の委託料が90～100万円。出していただけないか。市民の安心が得られるのではないか。

答 お金の話、遠い近いの話ではない。持続可能な医療提供という観点から、1カ所、医師会に委託する形で体制を整えると一次二次検討会議で決めてきた。

意見 市長のお話に納得できない。市民にとってどういう体制が望ましいのか、誰の方を向いてする議論だろうか。



会派に所属しない議員  
たなか まさひろ  
田中 正浩 議員



## 南海トラフで多く命を失うのは 松阪市の人災になるのでは

- 問 第五小学校で防災井戸を地域住民で設置したいとお願いしたが、設置は困ると言われたがなぜ駄目なのか。
- 答 その地域の民意の総意という提案があれば調査研究した上で回答。
- 意見 南海トラフ地震、松阪で何千人の方が亡くなる。1週間は電気水道が止まる。地域住民が自分たちの避難所に自分たちのお金で井戸を掘りたい、それが全く聞き入れられない。全く残念だ。

## 松阪市民病院がどうなるのか 市民に説明するべきでは

- 問 新しい指定管理者がきて、市民病院を運営していく。診療科も変更、ベッド数も少なくなる。患者さんから病院に聞いても教えてくれない。これからの松阪市民病院はどうなるのか。
- 答 来月の広報1月号で、診療体制は変わらないお知らせをする予定。
- 問 何人かの入院患者さんから病室のエアコンが全然効かないと連絡があった。改修・改修工事はいつ頃から行うのか。
- 答 一部の病棟では空調が十分に効かず患者に不便をかけた。改修時期や改修方法、予算措置も含め、三重県済生会と協議しながら検討したい。

- 意見 済生会病院の新病棟建設に振り回されているように感じる。不安を持っている市民にしっかりと説明を。



公明党  
おくで  
奥出 かよ子 議員



## 高齢者によりよい 生活環境の充実を！

- 問 松阪市の成年後見人制度の利用者数と今後の見通しは。
- 答 後見制度の利用者数は、令和7年8月現在、法定後見制度が292人である。高齢者人口は2040年まで増加することが見込まれており、それに伴い認知症高齢者も増加し、成年後見制度の必要性が高くなるものと予想している。
- 問 ユマニチュードに対する見解と福岡市や埼玉の入間市のような取り組みを導入することへの見解は。
- 答 同じ目線で見る、穏やかな声でポジティブな言葉で話すなどのユマニチュードの技法は、認知症高齢者の接し方としても、職員が市民と接する際のよりよいコミュニケーションを図る有効な技法であると考える。研究してまいりたい。

## 有事に備え、ドローンの 使用の可能性は！

- 問 孤立集落や薬や必要な物資を届ける方法の一つとして、ドローンは有効な手段と考えるが、本市のドローン活用についての見解は。
- 答 三重県が実証調査の結果を踏まえてドローンを活用した物資輸送のガイドラインを作成して公表していく。調査研究してまいりたいと考えている。



会派に所属しない議員  
もりもと つよし  
森本 哲生 議員



## 松阪市役所の活力 ～スピード感のある仕事を～

- 問 役所の仕事は地味で評価されないところが多く職員の気持ちを汲みとる努力を。
- 答 日々の職員の姿はなかなか市民の皆さん の目には届かないことから、「その気持ちを汲みとる」には、職員同士がお互いに認め合うことを常日頃から心がけることが大切と考えている。

- 意見 お願いとして、市民の皆さんからの依頼や要望への対応が遅いと感じる。このことを肝に銘じて仕事をしていただくようお願いしたい。

## 林家に収入を ～固定資産税さえ支払い困難～

- 問 林家、地域に還元できる制度、利用間伐で山手に収入が入るような仕組みを。
- 答 森林環境税を活用し、利用間伐や植栽、再造林に対する支援のほか、森林作業道整備など、森林所有者の負担軽減を図る補助制度を設けている。

- 意見 森林環境贈与税は柔軟に対応できると聞いています。単価を重視してほしい。

## 松阪牛祭り ～特産松阪牛にさらなる支援を～

- 問 特産松阪牛をもう少し増やす努力を。
- 答 令和7年3月31日時点で、松阪牛は1万6,617頭で、うち特産松阪牛は351頭。肥育農家に対する支援として素牛、共進会出場牛支援など行っている。

- 意見 ブランドを守るためもう少し支援を。



至誠会  
まつばら 里穂 議員



## 子どもたちへ 生きた英語教育強化を！

- 問 市内の中学生・高校生の親御さんと話す中で、「テストの点数は取れるけれど、英語で話すのは苦手」という声が多い。リアル・オンライン・バーチャルの体験型英語教育に取り組む考えはあるか。
- 答 教員支援、海外の生徒や国内外のロールモデルとの交流の機会を拡大、AIをも含むICTを活用した体験型英語教育の強化の研究を進めていく。
- 意見 学校教育に限らず、地域、企業、市民が一体となって英語を使う場を広げていくための仕組みづくりを、松阪市として積極的に進めていただきたい。

## 幼児期の室内での あそび場の重要性

- 問 雨天時や猛暑・寒波の際に外遊びが難しいときに親子で過ごせる場所が限られている状況。既存施設の活用、民間との協働型モデルを検討することで、新たな子育て施策を展開していく思いはあるか。
- 答 新たな取り組みが、できるところから始めていきたい。
- 意見 幼児期の遊びは心身の発達だけではなく、親子の交流・地域のコミュニティ形成にも大きく影響がある。子育て支援・人口減少対策にも寄与することから、実証的な進め方を検討していただきたい。



至誠会



もり はるか  
森 遥香 議員



### 飼い主の管理下にない猫に対する 問題解決と支援強化

- 問 住民同士のトラブル、相談内容は。  
答 以前から多くある。「飼い猫かどうかは不明だが、多く集まり庭にふんをされて困る」「近所で飼っている人の所で頭数が増えて心配」などの相談。  
意見 猫の命を思っての行為でも、適切な給餌やトイレ管理がされていないと地域トラブルとなる。屋外飼育への指導、不妊去勢の必要性のマナー周知が大切。  
問 TNRを行う上での捕獲や運搬、譲渡活動は負担が多い。明和町では活動団体が環境課と協定を締結し活動している。松阪で活動するボランティアへの経費や物品支援といった負担軽減への考えは。

- 答 他市の状況を注視し自治会や地域猫に携わる方、県と連携し、解決に努める。



### 経済状況に左右されない

#### 学生向け学習環境の提供と支援

- 問 図書館学習室に行列。家庭や学校以外の第三の場として、特に受験シーズン等は閉館後も学習室を解放できないか。  
答 ニーズ調査を行い、調査・研究する。

- 意見 全国的に、公民館や学校の空き教室等、公共施設の未利用スペースの活用事例が増えている。駅前の企業が行政と連携し、会議室を提供する事例もある。先般閉店した本市の地下食堂のスペースもある。柔軟に学びの場としての活用の可能性を検討してほしい。

#### 用語解説

TNRとは…T(トラップ=捕獲)、N(ニューター=不妊手術)、R(リターン=元に戻すこと)

公明党



おの けんじ  
小野 建二 議員



### 交通安全対策アクション38 キャンペーン推進事業所へ!

- 問 アクション38とは、道路交通法第38条において、信号機のない横断歩道における停止率向上につなげ、横断歩行者の交通事故ゼロを目指す取り組みである。松阪警察署と市で推進をと考え、公明党市議団として要望書の提出をし、1日でも早くと、竹上市長と松阪警察署とで推進事業所としての指定をしていただいた。今後の推進事業所としての対応の流れは。  
答 職員へアクション38に関する情報を配信し、横断歩行者優先を部長会や職員の朝礼、庁内会議等を通じ、公私を問わず、交通安全の徹底を促してまいりたい。公用車へのアクション38啓発ステッカーの掲示については、約400台であり、掲示可能な車両に、順次、ステッカーによる啓発に取り組んでまいりたい。

- 意見 今回これらの施策を速やかに実行することで、松阪市は過去の横断歩道での停止率ワースト上位という不名誉からの真の脱却を果たせるのではないかと考え、引き続き今後も対応をお願いする。



#### その他の質問

- ・子どもたちと一緒にジャンボタニシの駆除をしていく取り組みやイベントをさらに推進していくはどうかと提案する。
- ・司書さんや教職員に負担になっているのではないか、小・中学校の蔵書管理システムの統一を提案するが、いかがか。

市民クラブ



さかい ゆみ  
酒井 由美 議員



### 松阪市における きょうだい児の支援に向けて

- 問 障害や病気、医療的ケアが必要な兄弟姉妹とともに育つ子ども「きょうだい児」の支援の必要性が注目されているが、松阪市では人数を把握されているか。  
答 定義に基づく人数の把握はしていないが、市のデータによると医療的ケアが必要な児童や18歳未満で重度の肢体不自由と知的障害が重複している重症身障害児は35人で、そのうち、18歳未満の兄弟姉妹がいる世帯は27世帯、きょうだい児は40人である。

- 問 保護者は家族全体を支える仕組みを要望されているが①在宅レスパイトの利用回数の利用拡充②きょうだい児の塾などの送迎支援③家族たちの交流できる場づくりや相談窓口設置の可能性は。

- 答 日中一時支援の利用上限は原則月10回であるが、緊急時に必要とされるご家庭には利用回数や時間を調整し対応する。また松阪市ファミリーサポートセンターの送迎援助は原則利用可能である。こども家庭センターや学校、子ども発達総合支援センターなど適切な支援が受けられるよう連携し、見えにくい存在といわれるきょうだい児も含めた家族を見るという視点で対応していきたいと考えている。



#### その他の質問

- ・第三の居場所～メタバースを活用した不登校支援～
- ・松阪版L I N Eで伝わる市政情報へ

会派に所属しない議員



おがわ ともこ  
小川 朋子 議員



### 過度な不安を煽らず 命を守るための現実的なクマ対策

- 問 市内でのクマの確定目撃はほぼゼロ。現状を冷静に捉え、今できる行政対応として、熊スプレーの購入補助の検討は。  
答 出没状況などから考えていない。  
意見 市民の安心と命の重みを考えれば、早期に着手できる有効な対策の一つとなる。



### 共同親権導入を見据えた 男女双方が安心できる相談体制を

- 問 男女が安心できる相談窓口の整備は。  
答 他市町の動向を見ながら対応していく。  
意見 カスハラ対策として、弁護士などの専門人材の常駐配置を進めてほしい。

### 市民の信頼と納得につながる 事務事業評価の見直しを

- 問 誰にでも分かる評価書の導入検討は。  
答 常に改善をし、今後研究をしていく。  
意見 評価に人件費も組み込めば、事業の見え方は変わり、真のコストが把握できる。

### 外国人対策における公平性と 受け入れの適正化を考える

- 問 国民健康保険税は、外国人の納付率が低い。新たな前納制度を運用するのか。  
答 満納状況などを踏まえ調査研究する。  
意見 ルールを守る市民が不利益を受けない仕組みづくりが急務。支援と規律の両立、受け入れ規模の適正化、行き過ぎない共生を、しっかりと目指していただきたい。

まつもと かずたか  
松本 一孝 議員よしかわ あつひろ  
吉川 篤博 議員

## 入札参加資格基準土木一式 工事に関して

**問** 入札参加資格基準の中で、等級Gから準市内業者が参加できるが、準市内業者が入札できる理由と来年から設計金額が変更される根拠は何か。

**答** 国・県の発注基準を一律に見直し準じ工事発注件数の減少、物価高騰を踏まえ引き上げている。

**問** 参加業者から意見は出でていないか。

**答** ホームページで公告をしているが、業者からの相談、問い合わせは今のところない。

**問** 協会とかいろいろあると思うが、こちらから意見を求めたりはしていないか。

**答** さまざまな協会からも、市内業者優先の話はいただいている。今回、国・県の法を見て、それに準じた形で変更していく。

**問** 資本金・従業員数などは、評価点の加算はあるか。

**答** 経営事項審査の総合評定値を採用しており、加味されていると認識している。

**問** この等級Gについて、市内業者だけでこれから行なっていくか、市の考え方。

**答** G等級以上の発注は準市内業者も認めており、地域全体の経済効果と公平な競争環境の両立を図りながら入札制度の適正な運用に努める。

**意見** できるできないは答えられないということなのでこれ以上問うても一緒なので止めておく。市内業者にメリットがあるよう何とか考えていきたい。



### その他の質問

- ・プロアスリートを目指す小・中学生の学習に関すること
- ・観光交流協定都市に関すること

## 危機管理体制の充実を！ ～松阪市総合防災訓練から見えてきたもの～

**問** 想定避難者数と各避難所の収容人数の設定はこれで良いのか。防災備品の数の設置基準も地域の住民の数に対して少なすぎるのではないか。

**答** 防災備蓄品については、想定避難者総数の3万2,000人を基準とし、市内各所へ広域的な分散備蓄を行っている。なお、今年度も防災備蓄倉庫の増設の事業および備蓄品の整備事業を実施し、各種備蓄品の充実に努めたい。

## 教育の充実！ ～特別支援教育の現状とこれから～

**問** ここ3年間の「特別支援学級」に在籍している児童・生徒数の推移は。

**答** 特別支援学級在籍児童数は、小学校は、3年間で24人の増、中学校は、3年間で36人の増である。

**問** 学校生活アシスタントやメディカルサポートアシスタントの状況と、来年度に向けた見通しや待遇改善の状況は。

**答** 支援が必要な児童生徒がいる学校に、予算の範囲内ではあるが、学校生活アシスタントやメディカルサポートアシスタントを配置するなど、一人ひとりの教育ニーズに応じた教育が受けられるよう特別支援教育の充実を進めていく。

**意見** 来年度も各アシスタントさんを一人でも多く、学校に配置していただくようお願いする。



## 松阪市議会「議員と話す会」 (第25回議会報告会)



松阪市議会では、市民の皆さんに「開かれた議会」をめざし、毎年、春と秋に「議員と話す会(議会報告会)」を開催しています。今回は、松阪公民館、嬉野地域振興局、飯高地域振興局、産業振興センターの4つの会場で開催しました。



12月19日、広報広聴委員会 沖 和哉委員長、楠谷 さゆり副委員長、濱口 高志議長が竹上市長を訪問し、皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の市政に生かすための参考としていただくよう市長にお伝えしました。今後も皆さんの声にしっかりと耳を傾け、市政運営に反映していただけるよう、議会として取り組んでまいります。

# 行政視察

## 議会運営委員会

### 大阪府和泉市(1月7日)

和泉市は議会改革度調査の高ランクにあることから視察先とした。強調されたのは開かれた議会ということでUDトークの導入、市民参加の実践など先進的であった。議案修正や附帯決議などの事例はなく「議会改革」という場合の対象となる事例の違いを実感した。

### 兵庫県宝塚市(1月8日)

議案審査全体に議会としてかかわる制度化を実践している議会として宝塚市議会を視察した。論点整理表や自由討議の活用もあり、議案審査の充実につながっていること、一般質問中心の議会を、議案審査中心に変えられたことなどが改革の成果として認識できた。

## 建設水道委員会

### 駅前の再開発

#### 宮崎県日向市 (1月14日)

中心市街地活性化・駅前再整備事業は、国・県・市・鉄道会社が連携し、連続立体交差事業、土地区画整理、商業集積、交流拠点整備を一体的に進める取り組み。総事業費は約300億円で、駅周辺の機能強化とぎわい創出を目的とする。



### 景観計画

#### 大分県大分市 (1月15日)

戦災の影響を踏まえ、市域全体を多様な景観地域に区分し、それぞれの特性を生かす景観計画を策定している。また、景観計画は改訂を重ねる中で内容が充実しており、景観審議会の開催など、推進体制の整備が行われている。



### 流域治水対策

#### 岡山県岡山市 (1月16日)

西日本豪雨では、岡山市を含む広範な地域で大規模な水害が発生。近年は気候変動の影響により降雨量が増加した。このような状況下において、水害を流域全体で最小限に抑えることを目的とした重要な取り組み。



## 文教経済委員会

### 不登校児童生徒の学びの場・居場所

#### 愛媛県松山市総合教育センター(1月21日)

不登校児童生徒に対する支援を総合的に推進し、メタバース仮想空間で学校に登校しづらい子どもたちに多様な「つながり」をつくり、社会的自立に向けた取り組みで、コミュニケーションがとれなかった子どもたちが、とれるようになったという効果や事例も伺えた。



### 交通空白解消に向けた取り組み・スクールバスの地域住民の混乗化

#### 兵庫県姫路市(1月22日)

姫路市では交通空白解消のため、29人乗りのスクールバスを活用し、子どもたちと市民が混乗しコミュニティバスとしても運営し、また、住民の方々がドライバーとして車両を運行している取り組みもあり行政、住民、交通事業者との連携が非常に大事な実例であった。



### 「寝屋川モデル」いじめに向けた新アプローチ

#### 大阪府寝屋川市(1月23日)

いじめゼロに向けた「寝屋川モデル」である。取り組みの1つに、ハガキ付き通報チラシを全小中学校に配布し攻めの情報収集とし、案件が確認できれば、1ヶ月以内の解決を目標として、行政的アプローチと法的なアプローチで重層的体制の参考となる取り組みであった。



## 広報広聴委員会

### 議会だよりとウェブサイトのリニューアル

#### 静岡県静岡市(1月29日)

ウェブサイトはスマホで見やすいようデザインを一新し、若年層やこれまで議会に関心が薄かった層にアプローチし、議会だよりは写真の多用や視覚的なレイアウト、平易な表現に変更し、ともに審議内容をよりわかりやすく伝えることに成功している事例だった。



### 議会ウェブサイトの改革

#### 神奈川県開成町(1月30日)

議員紹介や一般質問、議会の仕組みや会議日程をイラストや短い動画の組み合わせにより直感的に見やすくわかりやすいサイトを構築。「読み込む」から「見てわかる」へと変革し、町政や議会への関心・参画を日々高めている斬新かつ積極的な取り組みだった。



# 飯南高等学校美術部への感謝状の贈呈



飯南高等学校美術部に市議会だより『みてんか』の表紙の作品をいただくようになって4年目を迎えました。

市民が親しみやすく、議会に愛着が持てる素晴らしい作品を長年にわたり制作された飯南高等学校美術部へ松阪市議会より感謝状を贈呈しました。

今月号の表紙は松阪工業高校1年 辻 心徳音（つじ みこと）さんの「出かけよう」。「新たな季節へと変わる街にワクワクを持って出かける私達」という作品にしました。新しい季節が来ると新しい出会いがあるかもと私はいつもワクワクします。今年も良い年になりますように」



## 令和8年6月定例会の開催日程

会期  
22日間

6/5	金	議会運営委員会
12	金	本会議（議案上程・提案説明）
18	木	本会議（議案質疑・委員会付託）
22	月	本会議（一般質問①）
23	火	本会議（一般質問②）
24	水	本会議（一般質問③）
25	木	本会議（一般質問④）
26	金	委員会（環境福祉・文教経済）
29	月	委員会（総務企画・建設水道）
7/3	金	本会議（議決）

本会議は市役所3階市議会議場で、委員会は2階市議会委員会室で、いずれも午前10時から開催します。皆さんの傍聴をお待ちしております。

## 編集後記

日々変化する社会情勢の中、今議会でも活発な議論が交わされました。議会の決定がどのように街の形を作っていくのか。そのプロセスを透明性高く、誠実に伝えることが私たちの使命だと考えています。

お手元の広報誌が、ご家族やご近所での対話のきっかけになればこれほど嬉しいことはありません。皆さんの貴重なご意見を、ぜひ編集担当までお寄せください。

広報広聴委員 奥出 かよ子

議会広報誌『みてんか』の“編集部員”に1年ぶりに復帰。“誌面の花形”とも言われる編集後記当番が回ってきたことに嬉々としています。

読者の皆さんにおかれでは誌面にはまだまだご不満がおありでしょう。が、“編集部”一同、議論を重ね、毎号、従来の殻を破る誌面改造を展開。今回は、各種議案について議会がどう議論して結論を出したかが伝わればと苦心しました。結果、絵より活字本流に？

広報広聴委員 海住 恒幸

UD FONT

見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

松阪市議会

● お問い合わせ  
松阪市議会事務局

● 発行 / 松阪市議会 ● 編集 / 広報広聴委員会  
〒 515-8515 三重県松阪市殿町 1340 番地 1

Eメール gikai@city.matsusaka.mie.jp  
電話 0598-53-4433 FAX 0598-23-3962

